

第九十回帝國議會 院 勞働關係調整法案委員會會議錄(速記)第五回

付託議案
勞働關係調整法案(政府提出)

昭和二十一年七月二十六日(金曜)
午前十時三十分開議

出席委員

委員長 逢澤 寛君
理事 龍澤 脩作君 理事 竹田 儀一君
理事 岡部 得三君 理事 古賀喜太郎君
理事 伊藤卯四郎君 理事 松岡 駒吉君
今井 はつ君 大内 一郎君
杉田 馨子君 原 侑君
山本 勝市君 川崎 秀二君
橋 直治君 赤松 勇君
辻井民之助君 土井 直作君
今村 等君 山下 榮二君
東 隆君 木下 榮君
藤井 正男君 穂積 七郎君
正田 敏男君
出席國務大臣 河合 良成君
出席國務大臣 膳 桂之助君

出席政府委員

厚生政務次官 服部 岩吉君
厚生參與官 佐藤 久雄君
厚生事務官 吉武 惠市君
厚生事務官 吉田 忠一君
厚生事務官 富樫 總一君

本日ノ會議ニ付シタ議案

勞働關係調整法案(政府提出)

○逢澤委員長 ソレデハ前日ニ引

續キマシテ是カラ會議ヲ始メマ
スー穂積七郎君

○穂積委員 續イテ少シク御尋ネ
致シタイト思ヒマス、前會ニ於キ
マシテ私ハ此ノ法案ガ二ツノ點ニ
於テ特ニ缺陷ヲ持ツテ居ルト云フ
コトヲ指摘致シマシタ、其ノ一ツ
ハ勞働者ノ爭議權ヲ統制スルニ拘
ラズ、一方ニ於テ勞働者ノ生産ニ
對スル發言權、或ハ生活保障ノ確
立ト云フ點ガ確保サレズ致シマシ
テ、爭議權ノミ之ヲ統制シヨウト
スルコトニ第一ノ缺陷ヲ感ジ、第
二ハ爭議行為ノ制限乃至禁止ニ
於キマシテ、苛酷ニ過ギルト云フ
二點ニ於テ御尋ネ致シタ譯デアリ
マス、第一ノ點ニ付キマシテハ、
本會議以來商工大臣或ハ厚生大臣
ニ依ツテ色々御答辯ガナサレマ
シテ、前會ニ於ケル私ノ質問ニ對
シマスル厚生大臣ノ御話デハ、大
體經營權ト勞働權ノ接觸點ト致シ
マシテ經營協議會ナル機關ガ表現
サレテ居ル譯デスガ、其ノ經營協
議會ノ性格領域ニ付キマシテ、最
初ハ政府ニ於キマシテハ、勞働條
件ノミヲ大體取上ゲルト云フコト
ヲ言ハレ、次ニハ生産計畫ニ勞働
者モ參加スルコトガ許サルベキデ
アルト云フ御答次ニナリ、前ノ機
會ニ於キマシテハ強制ニ依ルニア
ラズンバ、勞働者ガ經營權乃至ハ

人事權ニ參加スルコトモ差支ヘナ
イド云フ所マデ御答辯ガ發展シテ
來タヤウニ思ヒマス、ソコデ去ル
十七日ニ中央勞働委員會ノ經營協
議會指針ト致シマシテ發表ニナツ
テ居リマスル内容ニ付テ、最後ノ
御答辯通リノ御趣旨ニ即應シテ政
府ノ方針ニ御考慮ヲ願フト云フコ
トデ大體前段マデノ質疑應答ハ止
マツテ居ツタト存ジマス、尙ホ生
活ニ對シマスル保障ノ確立ニ付テ
ハ、失業問題ニ對シテ深刻ナル惱
ミヲ持ツテ居リナガラ、ソレニ對
スル對策ハマダ具體的ニ綜合的ニ
出來上ツテ居ラヌシ、多少考ヘガ
アルガ次ノ機會ニ其ノ説明ヲスル
ト云フコトデ、生活ニ對スル保障
ノ確立ト云フコトハ打切ラレテ居
ル譯デアリマス、ソコデ今日ノ質
問ハソレニ續イテ御尋ネ致シタイ
ト思フノデアリス、實ハ昨日ノ政
府ノ財政方針ニ依ツテ示サレマシ
タ如ク、是ハ敗戦後ノ日本ノ經濟
ニ於テ當然デゴザイマスガ、コ、
デ經濟ノ大整理ガ行ハレナケレバ
ナラナイ、サウ云フコトニナリマ
スト金融ニ對シマシテハ國家管理
ガ強化サレルコトガ當然豫想サレ
ル譯デアリマス、資本ニ於キマス
ル國家管理ト云フコトガ確立サレ
一方勞働ニ於キマスル或ル意味ニ
於ケル國家統制ト云フモノガ確立

サレント致シ、勞働者ノ自發的ナ
ル運動デアル勞働組合運動ノ中ニ
於キマシテモ、英國等ニ於ケルト
同ジク、我が國ニ於キマシテモ恐
ラク次ニハ單ナル賃金値上闘争ト
云フコトデナシニ、ソコカラ日本
ノ經濟復興ノ爲ノ増産運動ニ轉換
サルベキデアルト云フコトガ豫想
サレノデアリマス、其ノ場合ニ
於テ中間ノ經營權ノミガ飽クマデ
絕對ノモノノ如ク固執シテ居ラル
ル向キガアルガ、是ハ私ハ少シ錯
覺デハナイカト云フ風ニ思フノデ
アリマス、私ガ經營權ニ付キマシ
テ特ニ勞働ノ主體的小參加ト云フ
コトヲ主張致シマスモノハ、觀念
デハナシニ、此ノ經濟整理以後今
日直チニ我々ガ直面シナケレバ
ナイ日本ノ經濟ノ實情ノ中カラ
私ハソレヲ提案シテ居リマシテ、
決シテ理想論トシテ之ヲ表現シテ
居ルノデハナイノデアリマス、言
ヒ換ヘマスナラバ、從來ノ經濟ノ
建方ニ於キマシテハ、資本ヲ投下
致シマシテ、其ノ資本ガ經營權ヲ
確保シテ居ル、サウシテ其ノ經營
權ナルモノハ勞働權ニ優位スルモ
ノデアルト云フ考ヘ方デアリマス
ガ、今日生産條件ト云フモノハ、
即チ物的資源ト云フモノハ剝奪サ
レ、自由ナル市場ヲ制限サレテ居
ツテ、而モ金融モ國家管理化サレ

マシテ、サウシテ日本ノ生産復興
ニ役立つ所ノ經營權トハ一體何ダ
ト云フコトニナリマス、私ハ經
營權ト云フモノニ依ツテ主張サレ
ナケレバナラナイ、言ヒ換ヘルナ
ラバ、經營權ノ自由ガ與ヘラレ
コトニ依ツテ、國家ノ生産ガ復興
スルト云フ其ノ經營權ノ自由ノ役
割ト云フモノハ、日本ニ於キマシ
テハ、具體的條件ヲ甚ダシク缺イ
テ居ルト思フノデアリマス、ソコ
デ日本ノ經濟復興ハ國家管理サレ
タ金融カラ切離サレタ經營者ヲモ
含ム廣汎ナ勤勞ノ中ニこそ經營ノ
實體ガ移ラナケレバナラナイト云
フ風ニ思フノデアリマス、サウ
云フ意味ニ於テ、今マデ經營權ト
云フ名前ニ依ツテ擁護サルベキ利
潤或ハ又創意ノ自由ト云フヤウ
ナモノガ、經營者、技術者ヲ含メ
マシタ職場ノ全勤勞者ノ組織ト訓
練ノ中ニこそ私ハ經營ノ實體ガ移
ツテ居ルト云フコトヲ痛切ニ感ズ
ルノデアリマスガ、河合厚生大臣
竝ニ其ノ外ノ政府閣僚ハ其ノ認識
ヲドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ、
一體經營權絕對ヲ飽クマデ主張サ
レルノカ、私ハ其ノ點理解ニ苦シ
ミマスノデ、之ヲ第一ノ質問ノ點
ト致シタイト思ヒマス

ソレニ關聯致シマシテ、第二ハ
是ハ好ム好マザルニ拘ラズ、我が

國ノ經濟整理後ニ於キマシテハ、大體農業ハ中小自作農以下ニ分散サレマス、ソレカラ大資本ハ解體サレマス、ソレカラ金融資本ハ再整理サレマシテ、生産企業ノ整備ト共ニ、是ハ國家管理化サレル、全ク是ハ地均シサレテシマツタ譯デアリマシテ、日本ノ立場ト云フモノハ農業國ト、モウ一ツハ勤勞者國家ニ、國際經濟ノ中ニ於テハナリ下ツタト思フデアリマス、其ノ地均シサレマシテ後ニ、當然日本復興ノ場合ニ於テハ二ツノ岐路ニ立チマス、一ツハ鎖國經濟デ行クカ、モウ一ツハ國際經濟ニ進出スルカ、昨日ノ財政方針ニ依ツテモ示サレマシタ如ク、又國民全體ガ豫想スル如ク、國際經濟ノ方向ニ行クト云フコトニナリマス、日本ノ經濟復興ハ言フマデモナク日本ノ努力ト外國資本デアル、其ノ資本ノ日本内ニ於キマス發言ハ、國家管理化サレタル機關ト云フモノハ、特殊ノ金融機關ト云フコトガ考ヘラレル譯デアリマス、サウナリマス、此ノ場合ニ於テ我ガ國ニ於キマス生産經營權ト云フモノガ資本ノミニ依ツテ動力サレルト云フコトハ、日本ノ經濟ノ獨立ノ爲ニ私ハ深刻ナル問題デアルト思フデアリマス、會テ私ガ滿洲ニ見學旅行致シマシタ時ニ、其ノ代表的ナル工業デア

ル昭和製鋼所ニ參リマシタ時ニ、昭和製鋼所ハ日本ノ資本デア

其ノ經營ハ日本ガ握ツテ居ツタノデアリマス、現場ニ行ツテ見マスト、滿人ノ勞働者ガ、技術的ニモ思想的ニモ或ル程度向上致シマシタ、例ヘバ薄モノノ口取りヤツテ居ル、六「ミリ」以下ノ丸棒ノ引拔キノ口取ヲ滿人ノ勞働者ガヤル程度ニ、技術的ニ成長致シテ居リマス、其ノ技術的ニ成長致シマシタ勞働者ハ、固ヨリ意識的ニモ成長ヲ致シテ居リマス、此ノ場合ハツキリ致シマシタコトハ、資本ト勞働ト云フモノガ經營權ヲ中心ニ致シマシテ、全ク劃然ト對立シ、或ハ選別サレテ居ルコトハ、是ハ國內ニ於ケル階級問題タケデナシニ同時ニ滿洲ニ於キマシテ、民族間ノ對立ノ溝ヲ作ル現實ノ姿デアツタノデアリマス、是カラノ日本ノ復興ガサウ云フ形デ、農業國デアリ、勤勞國家トシテ立ツ場合ニ、外國資本ノ力ヲ借りナケレバナラヌコトハ當然デアリマスガ、ソレニ依ツテノミ日本ノ經營ノ總テガ指導サレルト云フコトハ、日本ノ經濟ノ將來ノ爲ニ採ラザル所デア

ノ國民ト外國トノ民族的ナ融合ト云フコトガ非常ニ不可能ニナルト考ヘルノデアリマス、ソコデ私ハ日本ノ經營權ト云フモノハ國家管理化サレマシタ金融ト、勞働自身ニ於キマシテモ、自發的乃至ハ此ノ法案ニ意圖サレテ居ル如ク國家意思ニ依ツテ統制サレ、國家ノ生産ヲ主トシテ勞働者ノ權利並ニ義務ヲ行ツテ行クト云フ方向ニ向フ時ニ、經營權ノミガ其ノ中間ニアリマシテ、茲デ絕對權ヲ主張シテ居ルト云フ、取殘サレタル自由ト經濟的錯覺ヲ殘シテ居リマスナラバ、私ハ今申シマシタヤウナ意味デ生産ノ昂揚ハアリ得ナイト思フ又茲デ外國資本ト民族的ナ勞働力トノ對立スル喚ビ起ス原因ニナルト云フ意味ニ於キマシテ、私ハ經營權ノ問題ヲ特ニ深刻ニ取上ゲテ居ルノデアリマス、其ノ意味ニ於テ前會ニ於キマシテ河合厚生大臣ハ、其ノ經營官職者ハ、他カラ強制サレタ形ニ依ルニアラザレバ、勞働者ノ經營權乃至ハ人事權ヘノ介入ハ非合法デアリ、差支ヘナイ、經營協議會ニ於テモ此ノ點ハ彈壓スル意思ハナイト云フコトヲ明言サレタノデアリマスガ、重ネテ私ハ其ノ二ツノ立場ニ立チマシテ、勞働權ト經營權ヲナゼサウニ元的ニ考ヘラレテ、勞働ニ對シテノミ統制或ハ限界ヲ置カネバナラナイカ、經營權ニ對シテハ之ニ限界ヲ置カナイト云フ御考ヘマ

○河合國務大臣 只今途中カラ參リマシタノデ、始めノ方ハ一寸間洩ラシタ點モアツタカモ知レマセヌガ、大體ノ御質問ノ御趣旨ヲ了承致シマシタノデ御答ヘ致シマスガ、是ハ穂積君ノ只今ノ御意見御尤モノ點モアリマスノデ、私モ或ル程度マデハ賛意ヲ表スルモノデアリマス、唯問題ハ、ヤハリ二ツニ分ケテ御考ヘテ願ハナイトイカヌノデヤナイカ、ト申スノハ、只今ノ社會秩序ニ於テ經營權ト云フモノト勞働權ト云フモノトドウ云フヤウニ取扱フノガ適當デア

テドウ云フ政策ヲ執ツテ行ツタラ宜カラウト云フ二ツノ問題ニ分ケテ御考ヘテ願ハナクテハナラヌ、今ノ御質問ハ此ノ二ツノ點ガ一緒ニ纏リヤウニナツテ居ルノデ、一寸ドウカト思ハレル點ガアツタト云フコトヲハツキリ私ハ申上ゲマス、ソレハ今マデノ「リベラル」ナ經濟組織ニ於キマシテハ、經營權ト勞働權ト云フモノヲ截然ト分ケテ居ル、ト云フノハ「マネージメント」ノ方法トシテ、株式會社ナラ株式會社ト云フモノハ、商法ニ認メラレタ權利ヲ持チ、サウシテソレヲ經營シテ居ルノデアリ、ソレニ勞働者ガ協力シテ仕事ヲシテ居ル、勞働ノ面カラ仕事ヲシテ居ル、此ノ組合セニ依ツテ、今日ノ經濟ガ出來上リ、今日ノ經濟秩序ガ出來テ居ルノデス、其ノ點ニ向ツテソレヲ平面的ニ御考ヘ願ヒタイ、ソレニ向ツテ其ノ柵ヲ超エテヤルト云フコトハ宜クナイト云フコトデアリマス、決シテ私ハ將來ノ理想ニ向ツテドウ斯ウト批評シテ居ルノデハナイ、現實ノ問題ヲ捉ヘテ言ツテ居ルト云フコトニナリマス、問題ハ相當ハツキリシテ來ルノデアリマス、ソレデ今資本家ト勞働者ト云ハレマスガ、今日ハ資本家ト勞働者ト云フヨリモ、資本ト經營ガ相當分離シテ、御承知ノ通り經營者ト云フ一ツノ階級ト云フカ、勤勞者ノ一部ガ經營者トナツテ居ルト云フ方ガ適切

デセウ、殊ニ財閥解體ノ今日ニ於テハ毎日目撃サレル事實デアル、併シ經營者ト云フモノト勞働者ト云フモノトノ二本建ヲ認メテ行クコトハ長イ將來ニ於テドウカ、ト云フコトニナルト自ラ別問題ニナリマス、今日ニ於テハ斯ウ云フ狀態ニ於テ總テノ社會秩序ガ保持シテ居ルカラ、茲ニ一ツノ劃然タル線ヲ引ク、未來永劫其ノ線ヲ引クト云フコトデハナイト云フコトヲ申上ゲタイ、サウスルト將來ニ付テドウナル、是ハ人間ノ考ヘ方ハ色々アルト思ヒマス、日本ノ將來ニ付キマシテモ、只今ハ、日本ト云フモノハ農業者ト勤勞者ノ國家ニナルト云フヤウナ御話デアリマシタ、私ハ必ズシモサウハ思ハヌ茲ニ「ドレド」ト云フ非常ニ大キナ問題ガアル、殊ニ海ニ依ツテ育ツテ來タ日本ハ中々之ニ大キナ分野ヲ持ツテ居ルト思ヒマス、ソレカラ中小工業バカリニナルカト云フトサウデハナイ、相當ノ「マスプロ」モ必要デアル、或ハ又海外ニ對スル經營ト云フヤウナコトニナルカモ知レマセヌ、平和時代ニナレバ日本人本來ノ力デドウ云フ點ニ展開スルトモ限リマセヌカラ、必ズシモ農業本位ニナリ、又勤勞者ダケノ國ニナルト云フコトハ斷定出來マセヌ、併シ日本全體ノ文化水準ヲ高メ、生活水準ヲ高メルノニドレガ宜イカト云フコトニモ自ラ議論ガアルコトト私ハ考ヘテ

居リマス、ソレ故此ノ問題ニ付キマシテハ一概ニ茲ニ斷定スル譯ニ行キマセヌケレドモ、兎モ角モ此ノ勞働權ト云フモノハ長イ封建制度乃至封建制度ノ餘波ヲ受ケタ長イ間ノ歴史ノ關係ニ於テ一種ノ壓迫ヲ蒙ツテ居ル、ソレヲ先ヅ解放シテ、經營權ナリ資本權ト云フモノト資本權ト云フモノノ下ニアルト云フ御話デアツタノデスガ、決シテサウ云フ意味デナク、對立的ニ之ヲ先ヅ認メルノガ今日ノ目標デアルト思ヒマス、今後更ニ二ツノ關係ニ於テドウ云フ展開ヲ見セルカト云フコトニ付テハ、將來ノ思想ニナル此ノ將來ノ思想ニ向ツテ、例ヘバソレハ法律ナリ立法ナリノ理想ノ上ニ於テ幾ラカソコニ傾向ヲ持タシテ行クト云フコトハ、是ハオ互ニ考ヘベキコトデアリ、私共ハ私共ノ見解ヲ持ツテ居リマス、併シナガラ此ノ調整法ト云フモノハ、モツト現實ノ問題デアアル、モツト平面的ノ問題デアルト云フ風ニ御考ヘ下サルナラバ、私ノ經營權ト勞働權トノ間ニ截然ト一線ヲ劃スルト云フコトヲ御諒承願ヘルコトト思ヒマス

ノ爲メ——國家ノ爲メト云フヨリモ、補償打切ト云フコトニナリマスカドウカ知ラヌガ、此ノ問題ニ關聯シマシテ、非常ナ混亂、非常ナ整理ノ時期ニ入ルナラバ、其ノ時ニハオ互ニ斯ウスルノガ一ツノ方法デナカラウカト云フ一ツノ示唆ニ止マルノダト私ハ考ヘテ居リマス、其ノ時ニ利潤ノ點ニ對シテドウカト云フコトハ、ソコマデモ善君ガ考ヘテ居ルカドウカ分リマセヌガ、今日ハ樞軸工業ト申シマセウカ、重要工業ト申シマセウカサウ云フモノヲ中心ニシテノ利潤ト云フモノハ、御承知ノ通り、殆ンドアリマセヌ、寧ろ取引面トカ享樂面ナドノ事業ニハ相當ノ利潤ハアリ得ルノデスケレドモ、生産面ノ、サウシテソレガ基本的ノ生産面ノ事業ニハ殆ンド利潤ト云フ問題ハナイノデ、是ハ其ノ面ニ付テ言ヘバ問題ニナラナイノデアリマス、ト云フ風ニ私ハ實際ノ上ニ於テ觀察シテ居リマス

○稟議委員 ソレハ將來ノ問題デアルトシテ外ラサレマシタガ、私ハ其ノ點ハ認識ガ違フト云ヘバソレマデデアリマスノデ、敢テ是以上揚足取りヲスルヤウナコトハ致シマセヌガ、私ハ今日勞働ニ對スル自主的乃至ハ國家意思ニ依ル或ル程度ノ國家ノ名ニ依ル統制、ソレカラ資本ニ於キマシテハ、言フマデモナク現ニソレガ昨日財政方針デ聲明サレマシテ、將來ノ問題

ハ自發的ナ統制デナケレバナラヌト云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマス、其ノ點ニ付テ、私ノ認識ニ依レバ之ヲ勞働根本法ニ於テ、生産ノ中ニ於ケル勞働ノ位置ト云フモノヲ、而モ此ノ勞働ト云フモノガ生産ノ手段デナシニ主體トシテノ位置ト云フモノヲ制定スベキ時期デアルト云フ風ニ認識スルノデアリマスガ、河合厚生大臣ハソコマデ認識シテ居ラヌト云フコトデアリマシテ、法律ノ上ニハソレヲ明文化サレナイト言ハレルノデアリマスガ、ソレデハ一歩譲ツタト致シマシテ、茲デ經營協議會ノ指導ヲ中心ト致シマシテ行政的ノ指導ト云フモノニ依ツテ大體ノ方向ガ決マルト思ヒマスガ、今後ノ經營協議會ヲ中心ニ致シマシテ經營權ト勞働權ノ一體のナル、而モ勞働ノ生産ヘノ主體的參加ト云フモノヲ大體次ニ我々ノ向フベキ方向トシテ御考ヘニナツテ、經營協議會ノ指導ニ御善處ガ願ヒタイト思ヒマス、サウシテ利潤ノ問題ニ付キマシテモ、實ハ御答辯モ御避ケニナツタヤウデアリマスガ、私ガ申シマシタソハ、首ヲ截ル時ニ、儲カツテ居ラヌ會社デアルカラ一方ニ首ヲ截リ、或ハ截ラレタ勞働者ガ爭議ヲ中止スルト云フ場合ニ、會社モ經營ノ面ニ於テハ大シテ儲カツテ居ラヌカラ五分々ダト云フコトト私ハ經營權問題ヲ取上ゲタノデハナク、是カラ日本ノ經濟

ガ立チ直ル時期マデノ間ヲ長ク指シテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居リマスカ、先程申シタ通りニ、其ノ經營ノ利潤ト云フモノガ、統制サレタル資本ノ力ニ依リ、又國家保護ノ下ニ、而モ勞働ニ於テハ自發的ナル勞働運動乃至ハ斯ウ云フ法律ニ依リ爭議權ト云フモノガ或ル程度國家公共ノ名ニ依ツテ抑止サレテ、保護サレヨウトシテ居ルニ拘ラズ、其ノ經營、又利潤ノミガ其ノ自由ノ絕對ヲ主張スルト云フコトハアリ得ザルコトダト云フコトヲ、今後ノ問題トシテ御尋索致シタノデアリマス、此ノ點其ノ含ミデモウ一度御答辯ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○河合國務大臣 今日ノ問題ニ付テハ先程御答ヘシタ通りデアリマスルガ、日本ノ將來ノ産業ガドウ云フ形ニナツテ行クカト云フコトハ今之ヲ豫定スルコトハ非常ニ困難ナ問題デアリマス、御承知ノ通りニ補償打切りナドト云フ問題ト關聯シマシテ、ドウ云フ線ニ付テ立テ直シマシテ行クカ、ソレハ色色昨日ノ大藏大臣ノ演說ニモ其ノ片鱗ガ見エマスガ、主トシテヤハリ今日ノ物資ノ不足及ビ是カラ起ルベキ努力ノ過剰、ソレカラ「インフレ」ヲ中心ニシタ物價問題、生活問題ト云フモノヲ如何ニ切抜ケルカト云フコトガ中心ニナツテ居ルノデアリマシテ、其ノ後ノ日

本建設ト云フモノヲドウ見テ行クカト云フ所マデハハツキリシタ見透シガマダ付カヌト云フノガ本當ダト思ヒマス、私個人ニ申シマスレバ、私ハ相當樂觀シテ居リマス、ト言フノハ昨日ノ豫算ニモ御覽ノ通りニ、大體アノ赤字ト云フモノハ何ニ基キカト云フコトハモウハツキリ分ツテ居ル、租稅モアレダケ取り、收入モソレダケアル國富モ國防ト云フモノニ費用ガ全然ナクナツタ今日、非常ニ負擔ハ輕クナツテ居ル、サウシテ日本ノ物資ト云フモノハ大體ハ不完全デアリナガラ、戰爭ト云フモノノ爲ニ非常ニ減ツタノデアツテ、戰爭ノナイ今日ニ於テハ、食糧問題ニ於テヤハリ約八割ノ自給力ガアリマス、サウシテ、滿洲トノ問題ナドモ將來ヤハリ國際自由ニ依ツテ貿易ガ出來ルモノダト見マスレバ、滿洲ノ大豆、今マデハ年ニ大豆及ビ大豆粕ニ於テ千萬石位ノ補給ヲ受ケテ居ツタト云フヤウナ事情デアリマス、向フハ大キナ農産物ノ寶庫デアリマスカラ、日本ノ國際的自由進出ト云フコトガ榮ニナリマシタナラバ、ソレ位ノモノハ買ヘルモノダト思ヒマス、南ノ米モアレダケノモノデアリマスカラ、日本ノ食糧問題ニ付テハ前途サウ不安ハ要ラヌ、サウシテ見マスレバ、アトハ生活水準ノ問題、寧ろ文化ノ問題ニナル、ソシテ、其ノ國際的輸入ノ仰ケ位ノ物資、生

系其ノ他ノ物資ハ勿論出來得ル、唯「ポピュレーション」ノ問題ニ付テ、人口過剰ト云フモノハ、是ハ大キナ線ニ於テ免ルベカラザル所デアリマスガ、斯ウ云フ問題ニ付テモ平和國際條約ガ出來マスレバ、又自ラ途モ開ケテ來ルト思ヒマス、サウ云フ風ニシテ相當樂觀ノ感ジデ考ヘマスレバ、一體世界ニ於ケル平和日本トシテドウ云フ態度ガ宜イカ、之ヲ利潤制限のニ行ツテ、サウシテ勞働者ノ分配問題ヲ考慮シテ行クト云フ點ガ宜イカ、或ハ積極的のニ、積極的富ト云フモノヲ海外其ノ他カラ得テ、サウシテ日本全體ヲ豊カニシテ行ク言葉ヲ換ヘルト、古イ「イギリス」フタリノ學說ノ「ウェーリントン」自體ヲ非常ニ増加シテ行ツテ、サウシテオ五ヒノ分配ヲ豐カニシテ行クト云フ途ヲ採ツテ行クガ宜イカト云フヤウナコトニ、非常ニ困難ナ問題ガアルト思フ、ソレカラ利潤ヲドウスルカ、利潤ヲ勞働者ヲ對象ニシテ之ヲ必ズ制限シテ行クカト云フ御尋ネニ對シテハ、私ハ明答出來マセヌ、却テ其ノ富ノ「アキムレション」ガ非常ニ多クナルト云フコトガ勞働者ノ利益ダト云フヤウナ國際情勢ニナラヌトモ限ラナイト云フコトデ、ソレニ對スル私ノ明白ナ言責ハ一寸申上ゲル譯ニ行キマセヌ、御諒承願ヒマス

○穗積委員 河合厚生大臣初メ經濟關係ハ、今日日本ノ非常ナ「エキスパート」デアルニモ拘ラズ、見透シガ立タヌト云フ辯明デ、御意見ヲ率直ニ伺フコトガ出來ナイノヲ残念ニ思ツテ居リマス、併シナガラ此ノ問題ハ、實ハ今議會開會ノ直後ニ於キマシテ、社會黨初メ其ノ他ノ質問者カラ、政府ノ性格トシテ最も御聽キ致シタイ所デアリマシタガ、御答ヘ戴クコトガ出來ヌト云フコトデアルナラバ、他日又個人的ニ御教ヘシ戴クコトニ致シマシテ、此處デノ質問ハ、見透シガ立タヌカラ答ヘラレヌト云フコトデ打切ツテ置キマス、唯一ツ殘リ問題ハ、私ガ先程申シマシタヤウニ、食糧其ノ他ニ付テモ、御同様サウ悲觀的ニバカリ見テ居リマセヌガ、日本ノ經濟復興ノ場合ニ於ケル失業問題ト外國資本ト日本ノ勞働力トノ關係ト云フモノハ、實ハ深刻ニ考ヘテ居リマス、外國資本ガ如何ナル産業ニ入り、勞働トノ結合——經營權ヲ中心ニシテ勞働トノ結合ガドウ云フ形デナサレルカト云フコトハ、日本ノ勞働者ニ取リマシテ深刻ナ問題デアリ、次ノ國際的ナ平和機構建設ノ爲ニモ、コノ性格ニ依ツテ問題ハ決ツテ來ルコトトスラ私ハ思ヒマスノデ、其ノ點ニ對スル政府ノ御認識ヲ、全國ノ勞働者ニ安心ヲ與ヘル意味ニ於テ一寸御尋ネ致シテ置キタイト思ヒマス

○河合國務大臣 外國資本ガドウ云フ狀態ニ於テ日本ニ入ツテ來ルカト云フ問題、ソレニ付テ私ハ此處デ穗積サンノ質問ノ趣旨ヲ具體的ニ取上ゲテ、斯ウ云フ御質問ノ趣旨ダラウト云フコトヲ明瞭ニシテ御答ヘ申上ゲルコトハ多少憚リマスガ、御趣旨ノ點ハ私モ分リマス、外國資本、現ニ日本ニアル外國資本ト云フ問題モ相當重要デアリ、將來日本ニ入ルダラウト思ハレル外國資本、ソレト經營權トノ問題ト云フコトニナリマス、色色事國際關係ニモ影響ヲ及ボス問題デアリマスルシ、ソレニ向ツテ色々々推定ヲ下シテ、今答辯スルノハドウカト思フノデ、茲デハ申上ゲナイコトニ致シマス

○穗積委員 政府ノ高等ノ政策デアツテ、日本ノ爲ニ事前ニ方針ヲ立テヌ方ガ宜イコト云フコトデアリマスガ、私ハ寧ろ逆ニ考ヘルノデアツテ、此ノ問題ヲ明確ニシテ置クコトガ口ニ平和主義ヲ唱ヘ、或ハ勤勞文化國家ノ建設ト云フコトヲ言ツテモ、言フコトダケデナシニ、實ヲ示スカ示サナイカト云フコトハ、コ、デ決マルノデヤナイカト云フ風ニ思ツテ居リマス、今マデノ帝國主義的ナ資本ト、後進國ノ勤勞トノ結合方式ト云フモノガ、若シ茲デ繰返サレマスナラバ、是ハ言フベクシテ國際平和關係ト云フモノハ不可能デバナイカ、サウ云フ意味ニ於テ私ハ、先程河合厚生大臣モ其ノ點ヲ明確ニ御認識

ニナリマシタ如ク、會テノ戰前マ
デニ於ケル經營權ノ實體ト云フモ
ノ、即チ經營權ト云フモノノ實體
ハ資本或ハ勤勞者デアリマスガ、
私ハ資本ガ國家化サレタ後ノ經營
權ノ問題ト云フモノヲ職場全體ノ
勤勞者ニ、依ツテ、是ガ運營サレ
ルト云フ形ガ次ノ外國資本ト日本
ノ勤勞トガ最も合理的ニ、最も平
和的ニ結合シ得ル唯一ノ方法デア
リ、同時ニ日本ノ經濟ノ民主化ヲ
計リ得、同時ニ其ノ植民地化ヲ防
ギマスル中心デアルト私ハ思フノ
デ、其ノ態度ヲ明確ニシテ掛カル
コトガ一番必要デアルト思フノデ
アリマス、會テ「ドイツ」ハ敗戦後、
米英ノ資本ヲ自分ガ起チ上ル爲ニ
之ヲ使ツタノデアリマス、借リタ
其ノ資本ノ力ニ依ツテ、逆ニ是等
ノ國ヲ打ツ方向ヘ其ノ經濟獨立ト
云フモノヲ使ツテ行ツタ譯デアリ
マスルガ、ソレヲ日本ガ一體ドウ
云フ風ニ是カラ考ヘテ居ルカト云
フコトガ、即チ外國資本ト日本ノ
勤勞トノ結合ノ方針ヲ、經營權ノ
問題ヲ處理スルコトニ依ツテ、
茲デ一ツノ新シイ融合ニ依ル平和
的經營方針ト云フモノヲ專明サレ
ルコトガ、私ハ本當ニ日本ノ勤勞
者ニ安心ヲ與ヘ、國家ノ生産ニ向
ツテ、自發的ニ其ノ意思ト能力ヲ
發現シ得ル唯一ノ途デアルト存ジ
マスシ、同時ニ外國資本ニ對シテ
モ合理的ナ一ツノ安心感ト、平和
主義ノ實證ヲ示ス唯一ノ途デア

ト思ヒマスノデ、私ハ此ノ點ハ今
ノ所政府トシテ纏ツタ答辯ヲスル
コトガ出來ナイト云フコトデア
ラバ、急速ニ之ニ對シマシテ閣
議ヲ統一サレマシテ、積極的ナル
此ノ方針ヲ内外ニ向ツテ宣明サレ
ルコトガ、日本經濟建設ノ中心問
題デアルト云フ私ノ河合厚生大臣
ニ對シマスル經營權問題ノ質問ハ
打切ツテ置キタイト存ジマス
續イテ御尋ネ致スベキコトハ、
即チ勤勞爭議權ガ制限乃至ハ統制
サレナガラ、勤勞者ノ生活權ガ擁
護サレテ居ラナイ、ソレハ二ツニ
現ハレマスガ、一ツハ失業問題デ
アリ、一ツハ生活保護ノ問題ニ付
キマシテハ、次ノ議會ニ政府ハ之
ニ對シテ用意ヲ持ツテ進ム積リデ
アルト云フ御話デアリマス、失業
問題ニ對シマシテハ、凡ソ二億ヲ
超エマスル失業復興ノ爲ノ歳出ト
シテ豫想サレルモノガ昨日ノ總豫
算ノ中ニ含マレテ居ル譯デアリマ
スガ、ソレガ一體ドウ云フ形デ行
ハレルカト云フコトガ實ハ問題デ
アリマス、其ノコトヲハツキリセ
ズシテ爭議ノ休戦ノ宣言スルト
云フコトハ一體ドウ云フ所ニ狙ヒ
ガアルノカ、私ニハ理解ニ苦シム
ノデアリマス、政府ガ若シ本當ニ
良心的デアツテ、此ノ法案ガ勤勞
者彈壓ノ爲メデナイト言ハレルナ
ラバ、ソシテ同時ニ日本ノ經濟建
設ハ金融資本ノ力デハナシニ、勤
勞ノ力デアルト云フコトノ正確ナ

自覺ヲ持タレルナラバ、其ノ失業
問題並ニ勤勞者ノ生活確立ト云フ
コトヲ先ヅ宣言サレテ、然ル後ニ
其ノ基礎ノ上ニ立ツテ産業ノ平和
並ニ爭議ノ休戦ト云フコトヲ提案
サルベキデアリマシテ、其ノ言葉
ヲ發セラレマシタ膳國務大臣ガ御
見エニナリマシタガ、私ハ其ノ言
葉ガ一方的ニ發セラル其ノ意圖ヲ
了解ニ苦シム次第デアリマス、ソ
コデ失業問題ニ對シテハ、今度ノ
企業整備ニ因ツテ不可避免ニ出テ
來ル失業問題ニ對シテハ先ヅ特別
ノ補償制度ヲ考ヘタイト云フ前會
ニ於ケル河合厚生大臣ノ答辯デア
リマシタ、其ノ後ニ於ケル失業對
策ニ付キマシテハ、是ハ深刻ナル
問題デアツテ、我々ノ今考慮シテ
居ル所デアツテ、纏ツタ形ニ於テ
ハ十分ナル説明ヲスルコトガ出來
ヌ、或ハ時間ガナイト云フ御答
ヘデアツタト思ヒマスガ、其ノ點
ニ付キマシテ膳國務大臣或ハ河合
厚生大臣、ドチカラデモ結構デ
ゴザイマスガ、時間ヲ節約スル爲
ニ何レカラカ御答辯願ヒタイト思
ヒマス、即チ今後ノ指導ニ於キマ
シテ、此ノ法案ニ現レテ居ル如ク
勞働爭議ヲ抑制シ或ハ統制スルト
云フ意圖デアリ、爭議ノ休戦ヲ宣
言シヨウデヤナイカト云フ御意圖
ノ一方ニ於テ、失業問題ヲ一體ド
ウ云フ風ニ處理サレテ行カト云
フコトヲ御尋ネシテ置キタイノデ
アリマス、質問ノ要點ハ、ドウ云

フ風ニ御指導ニナリ、サウシテソ
コカラ出テ來マス不可避免ノ失業
對策ヲドウ云フ風ニ御考ヘニナツ
テ居ルカ、是ガ若シ出來マセヌナ
ラバ、茲ニ問題ニシテ居ル就業シ
テ居リマス勤勞者ノ爭議ヲ取締リ
マシテモ、失業者ノ大群ト云フモ
ノガ事業主ドコロカ、國家ニ對シ
テ爭議ヲ起スト私ハ思フノデアリ
マス、日本ノ經濟的、政治的危機
ハ正ニコ、ニアル、此ノ失業者ヲ
ドウスルカト云フコトガ此ノ法案
ノ精神ガ活キルカ死ヌカト云フコ
トニナルノデアリマス、其ノ失業
者ノ國家ニ對スル爭議ヲドウ云フ
風ニ御考ヘニナツテ居ラレルカ、
其ノ點ヲ安心ノ出來ルヤウニ御答
辯ヲ願ヒタイノデアリマス
○河合國務大臣 失業對策ニ付テ
ドウスルカト云フ御尋ネデゴザイ
マシタガ、是ハ今マデ本會議其ノ
他ノ機會ニ於テモ私ノ考ヘヲ申述
ベテ置キマシタ通り、今度ノ失業
ト云フモノハ全ク偶發的ノ敗戦ト
云フ事實、ソレニ因ツテ軍需工業
ガ崩壊シ、軍隊ガ解放サレ、引揚
民ガ多數歸ツテ來タト云フヤウナ
原因ガ中心ニナリマシテ、偶發的
ニ起ツタ失業ダト云フ風ニ解釋致
シテ居リマス、サウシテ昭和六年
七年頃ノ失業、勿論規模ハ小サウ
ゴザイマシタア當時ノ狀態ト考
ヘテ見マス非常ナ差ガアル、ア
ノ昭和六、七年ノ頃ハ、御記憶ノ
方モゴザイマセウガ、物ガ非常ニ

餘計出來過ギマシテ、例ヘバ一例
ヲ申シマス、信州ノ松本ヘオ婆
サンガ薩ヲ擔イデ賣リニ來タ、サ
ウシタラ薩ガ一貫目僅カ三圓ニシ
カ賣レナイノデ、其ノ薩ヲ川ニ投
ジテ氣ガ狂ツタト云フヤウナ浮説
ナドガ世ノ中ニ出タヤウナ狀態デ
「アメリカ」デハ小麦ニ「アニリ
ン」ヲ掛ケタトカ、「ブラジル」
デハ「コーヒー」ヲ焼イタトカ云
フヤウナ、世界的ニ物資過剩ニ依
ツテ職ガナクナツタト云フ狀態デ
アリマス、其ノ時ノ議論ノ中心ハ
兎モ角「デフレーション」ニ向ツ
テ通貨ヲ増發シテ、土木デモ、植
林デモ、河川デモ何デモ宜イ、仕
事ヲ與ヘト云フ叫ビガ御承知ノ
通り非常ニ起ツタト云フヤウナコ
トヲ、私共鮮カニ當時ノコトヲ記
憶シテ居リマス、今日ハソレト全
ク事情ガ變リマシテ、御承知ノ通
リニ非常ナ物ノ不足ノ狀態デアリ
マス、ソコヘ斯ウ云フ偶發的ニ人
ガ非常ニ多クナツタ、努力ガ餘ツ
テ來タト云フ狀態デ、更ニソコヘ
御承知ノ物ガ足ラヌカラ「インフ
レーション」デ生活難ガ起ルト云
フノデ非常ニ困難デアル、困難デ
アルケレドモ、昨日大藏大臣ノ本
會議ニ於ケル政演説ノ如ク、是
ハ努力ヲ巧ク轉用シテ、サウシテ
物ノ生産方面ニ使ヘバ日本ハ大丈
夫浮ブノダ、立派ニヤツテ行ケル
ノダト云フコトガ、今政府ノ考ヘ
テ居ル中心問題ニナツテ居リマス

勿論ソレハ戦争ニ依ツテ機械ハ壊サレ、工場ハ壊サレテ、「ドイッ」ノ第一次「ヨーロッパ」戦争終戦後ノ状態トハ自ラ違ツテ居ル、ダカラハ中々復活セヌダラウト云フ危惧ノ念モ一面ニハアリマス、アルケレドモ、又「ドイッ」ノ第一次「ヨーロッパ」戦争後ノ状態ト大イニ違フノハ、アレハ御承知ノ通り國際關係、即チ爲替關係ト云フモノガ自由ニナツテ居リマシタ、私ハ丁度其ノ「インフレーション」ノ起キル初メニ「ドイッ」ニ居リマシタガ、ソレハ丁度米袋ノ底ガ抜ケタヤウナ状態デ、物ハ「ハンガー・エクスポート」デ外ヘ流れ、サウシテ外國ノ資金ガドンドン來テ、「ドイッ」ノ不動産ナリ工場ナリヲ取ツテシマフト云フヤウナ激シイ状態デアリマシタ、サウ云フコト今日ノ日本ノ状態トハ又自カラ非常ニ根本的ニ違ツタ點ガアルノデ、日本ノ今日ノ「インフレーション」ト云フモノハ是ハ「ハンガー・クライシス」デア

ル、飢饉恐慌デアル、決シテ是ハ眞ノ所謂「インフレーション」デハナイト云フコトノ政府ハ確信ヲ持ツテ居リマス、ソコデソレニ向ツテ失業對策ノ總テ考ヘテ行カナクテハナラヌト云フ考ヘデ居リマス、ソレデハドウスルカト云ヒマスルト、第一番ハ出來ルダケ失業ヲ生産ニ向ケテ行クト云フコトデアリマス、唯金ヲヤツテ

生活ヲサセテヤルト云フコトデハ困ル、出來ルダケ生産ニ向ケテ行ク、サウシテ又出來ルダケ地域の配分ト云フコトヲ考ヘテ行クト云フコトニ重點ヲ置イテ失業對策ヲ具體的ニ立テテ居リマス、ソレデ六十億ノ公共事業費ハ勿論ノコトデアリマスガ、昨日ノ石橋藏相ノ説明ノ如ク、其ノ他豫算面ニ於テモ事實上失業對策ニ用ヒラレルデアラウト思フ費用ハ相當ノ額ニ上ツテ居リマス、ソコデソレヲドウ云フ風ニスルカト云ヒマス、生産ト云ヒマシタモ御承知ノ通りノ狀況ダカラ直接生産モアリ間接生産モアル、ソレガ都市田舎トニ分布サレテ居ル、例ヘバ道路トカ或ハ河川トカ、或ハ治水、植林、斯ウ云フ問題ハ勿論直接間接ニ生産ニ量大ナ影響ヲ持ツ、殊ニ農耕地ノ開發ト云フ問題ハ言フマデモナク非常ニ重大デアリマスガ、此ノ面ニ向ツテヤル、是ハ從來ヤツテ來タ途デアリマスガ、之ニ付テモ出來ルダケ生産ヲ重點的ニ考ヘテ行ク、併シソレデハ足りマセヌ、ヤハリ戰災地ノ復興、或ハ戰災地ノ整理モ相當考ヘナクテハナラナイ、ソレカラ都會ヲ中心ニシマシタ機動的ノ公共事業ト云フヤウナモノモ考ヘテ行カナクテハナリマセヌ、何ト云フカ、計畫的ニ大キナ都會地中心ニ機動的ニ「ピック・アップ」スルヤウナ公共事業ヲ考ヘナケレバナラヌ、又補導施

設共同作業場ト云フヤウナ點モ勿論考ヘテ行カナクテハナラヌ、斯ウ云フ點ニ付テ相當大キナ計畫ヲ以テヤツテ行ク、一ツノ例ハヤハリ中小工ノ工場「アパート」ト云フヤウナ施設ナドモシテヤルサウ云フ點ニ付テ只今實ハ心膽ヲ碎イテ計畫ヲ考ヘテ居ル最中デアリマス又一面中小工ノ方面ニハ十分ナ金融ヲ與ヘテ、日本ノ將來ノ工業ノ根幹トナル中小工ノ復活ト云フコトニ對シテ特別ノ施設ヲシナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラ肥料トカ石灰トカ増産ニ向ツテ力ヲ入レルベキコトハ言フマデモナイコトデアル、サウ云フ結局從來ト同ジ型ノ失業對策ト都市中心ニ於ケル特別ナ性格ヲ持ツタ失業對策、物ノ増産面、産業面ノ復活ト云フコトヲ目標ニシタ増産計畫、之ニ依ツテ結果トシテハ失業對策ニナルノデスガ、サウ云フ線ニ沿ウテ實ハ目下考ヘテ居リマス是ハ勿論政府ダケノ力デ行カヌコトデアリマシテ、國民舉ツテ日本再建ノ爲ニ働カナケレバナラヌ問題デアルト思ツテ居リマス、ソコヘ御承知ノ通り補償打切りノ問題ヲ中心トシマシテ、企業整備ト云フコトガ横カラ入ツテ來ル譯デアリマス、是ハ言フマデモナク失業問題ニ拍車ヲ掛ケル、恐ラク數十萬ノ失業者ガ之ニ依ツテ生ジマセウ、ソレデ勞働爭議ノ問題モ或ハ一ツノ性格ノ變換ヲ來タスカモ知レナ

イ、今マデハ賃金ノ値上ト云フコトガ中心ノ勞働爭議デアリマシタケレドモ、此ノ次ニハ片方ニハ工場閉鎖ト云フコトガ起キマスサウシテ賃金ト云フ面ハ「インフレーション」ノ程度ノ面トノ睨ミ合ヒノ問題ニナリマスカラ、是ハドウ云フコトニナルカト云フコトハ、ハツキリシタ豫測ヲ申上ゲル譯ニ行カヌガ、少クトモ解雇手當ノ問題ガ一ツノ大キナ中心問題ニナルサウ云フヤウニ爭議ノ性質ト云フカ勞働運動ノ性格ガ多少違ツテ來ル點ガアリハセヌカ、サウ云フ問題ニ對シテドウ云フ方法ヲ執ルカト云フ問題ニ付テハ、昨日モ本會議答辯致シマシタ通り、解雇手當ト云フモノニ對シテ何等カノ施策ヲヤルベキデナイトカト云ウコトデ、只今具體的ニ考慮シテ居ルヤウナ次第デアリマス、左様ニドウカ御承知ヲ願ヒタイ

○逋澤委員長 穂積君、國務大臣ガ見エテ居リマスカラ、國務大臣ニ對スル質疑ヲ：

○穂積委員長 河合厚生大臣ノ御答辯ニ感謝致シマス、私ノ此ノ問題ニ付テノ質問ハ是デ打切りマスガ唯一九二三年英國ニ於テ行ツタ所ノ遊バシテ喰ハスト云フ失業保險制度ト云フモノハ今日ノ日本ニ於テハ成立タヌト思ヒマス、生産ニ裏付ケラレタ失業對策ト云フモノヲ是非實施シテ戴カナケレバナラヌ、其ノ點ニ付テ希望ヲ申上ゲマ

ス、今ノ御話ニ依リマストマダ對策ガ決ツテ居ラヌト云フコトデアリマスガ、之ニ付テハ色々是カラ一方ニ於テ生産計畫ヲ立テナガラ一方ニ於テ「デフレ」政策、低物價政策ヲヤラナケレバナラヌ、其ノ上三方ニ於テ社會施設ヲシナケレバナラヌト云フ矛盾ガアリマスカラ、ソレヲ生活保護、勞働保護ト云フヤウニ一ツ／＼色々ナ形デ行ハズニ、現在マデアリマスル民間ノ諸々ノ保險會社、是ハ莫大ナ資金ヲ持ツテ居リマスガ、之ヲ全部國有化シテ、ソレカラ政府並ニ逋信省ニ於テ行ハレテ居リマス年金制度其ノ他ノ社會施設ノ基金ガアリマスガ、是モ全部一本ニシテ失業ダケデナク、傷害、疾病、老廢疾モ纏メマシタ綜合的ノ國民保險ノ制度ヲ設ケル、是ハ勞働者失業者ノ生産性ヲ高メルコトト、モウ一ツハ勞働者ガ物質的ノ根性カラ自主的ニ起チ上ル精神ヲ鼓舞スル爲ニ、其ノ意味ニ於テ共助的ニ保險ヲ一本ニシテ、國營ニ依ツテ綜合的ノ社會保險ト云フモノヲ打立テテ行ク、本年度ノ豫算ニ於テハ二百幾ラカノ金ガ失業對策費トシテ使ハレルモノガアリマスガ此ノ豫算ガ一體永續性ガアルノカソコデ私ハ其ノ基金デ將來ノ日本經濟復興ノ爲ノ基礎開發ノ爲ノ生産業ヲ營ンデ行クト云フ綜合社會保險制度ヲ一ツノ試案トシテ御考慮願ヒタイト云フコトヲ申上ゲ

テ打切りマス

○膳國務大臣 只今穂積君委員ノ御尋ネニ對シマシテ御答ヘ申上ガマスガ、實ハ私ハマダ御答ヘスル資格カナイカモ知レマセヌ、ト申シマスルノハ、國務大臣トシテノ親任ハ拜受シタノデアリマスガ、マダ經濟安定本部ノ官制モ公布サレテ居リマセヌシ、私マダ其ノ地位ニ居リマセヌ、隨テ私ガ安定本部長官ト云フ意味デノ御答ガ申上ゲラレナイノデアリマス、又此厚生省ノ主管ノ問題ハ河合厚生大臣カラ縋々御答ヘガゴザイマシテ御諒承ニ相成ツタヤウニ御見受申上ゲルノデアリマス、但シ少シ此ノ邊ガ或ハ善イノカ惡イノカ分リマセヌケレドモ、私カ偶、國務大臣就任ノ際ニ申シマシタ話ヲ御引用ニナリマシテノ御尋ネデアリマスノデ、唯私ノアノ際ニア、云フコトヲ申シマシタ氣持ヲ申上ゲルト云フコトハ、必ズシモ私ノ現在ノ越權行爲デモナイト存ジマスシ、御許シテ得マシテ一言述べサシテ戴キタイト存ジマス、唯先ニ一ツ皆様ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマスコトハ、私ハ豫テ斯ウ云フ信念ヲ持ツテ居リマス、ヨク政治的ノ方面ニ經歴ノアル方ハ會テ十年前或ハ五年前或ハ責任ノアル地位デナイ前ニ、個人的ノ意見トシテ色々述べマシタコト等ニ何カ非常ナ拘束ヲ感ジラレルヤウナ風ニ、又ソレガ一ツノ政治道徳デアルト云フ風ニ御考ヘニナラレテ居ル向ガ

○膳國務大臣 只今穂積君委員ノ御尋ネニ對シマシテ御答ヘ申上ガ

マスガ、實ハ私ハマダ御答ヘスル資格カナイカモ知レマセヌ、ト申シマスルノハ、國務大臣トシテノ親任ハ拜受シタノデアリマスガ、マダ經濟安定本部ノ官制モ公布サレテ居リマセヌシ、私マダ其ノ地位ニ居リマセヌ、隨テ私ガ安定本部長官ト云フ意味デノ御答ガ申上ゲラレナイノデアリマス、又此厚生省ノ主管ノ問題ハ河合厚生大臣カラ縋々御答ヘガゴザイマシテ御諒承ニ相成ツタヤウニ御見受申上ゲルノデアリマス、但シ少シ此ノ邊ガ或ハ善イノカ惡イノカ分リマセヌケレドモ、私カ偶、國務大臣就任ノ際ニ申シマシタ話ヲ御引用ニナリマシテノ御尋ネデアリマスノデ、唯私ノアノ際ニア、云フコトヲ申シマシタ氣持ヲ申上ゲルト云フコトハ、必ズシモ私ノ現在ノ越權行爲デモナイト存ジマスシ、御許シテ得マシテ一言述べサシテ戴キタイト存ジマス、唯先ニ一ツ皆様ニ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマスコトハ、私ハ豫テ斯ウ云フ信念ヲ持ツテ居リマス、ヨク政治的ノ方面ニ經歴ノアル方ハ會テ十年前或ハ五年前或ハ責任ノアル地位デナイ前ニ、個人的ノ意見トシテ色々述べマシタコト等ニ何カ非常ナ拘束ヲ感ジラレルヤウナ風ニ、又ソレガ一ツノ政治道徳デアルト云フ風ニ御考ヘニナラレテ居ル向ガ

多イト存ジマス、私ハ政治家デモ

何デモゴザイマセヌ、偶、一實業人ガ國家緊急ノ際ニ、オ前ハ徵用サレタ積リデ出テ來イト云フ御召ニ依リマシテ出テ來マシタノデアリマシテ、私ハ何等政治家デモゴザイマセヌ、併シ私ハ今ノヤウナ考ヘハ非常ニ此ノ變轉萬化、中々一ツノ思想ヤ一ツノ主義カラバカリ出ルコトデ世ノ中ノ事象ガ片付ケラレルモノデナイ、斯ウ云フ時ニ若シサウ云フヤウナ拘束ガ政治的或ハ社會的ニアリトスルナラバ、是非非常ナ無物ガ起キテ、本當ノ變化シツ、アル經濟現象ニ對スル適當ナ政治ガ出來ナイモノト存ジマス、ドウゾ皆様ガ私ノ以前ドウ云フ言動ガアツタカ、ドウ云フ意見ヲ述ベタカト云フコト、私ハ自分個人トシテハ自分ノ信念ノ動力ザルモノモアリ、併シ或ハ自分ノ信念ノ誤リヲ自ラ正ス意味ニ於キマシテ絶エズ研究シテ居ル問題モゴザイマスガ、私ノ是カラノ問題モゴザイマスノデ一言申上ゲテ置キマスガ、私ハ一國ノ國政ニ參與スル場合、唯一家言或ハ一國ノ私見ニ因ハレテ居ルベキモノデナイ、是ハ政治的生涯ヲ送ル者ノスルコトデナイ、是ハ私ノ確信デアリマス、人ニ依ツテ色々御考ヘモ違ヒマセウ、隨ヒマシテ私ラ批判シテ戴キマス場合ニハ、ドウゾ私ノ是カラ爲シマスコト、是カラ言ヒマスコト、是等ニ付テノ私

ノ責任ヲ御問ヒ下サイマセ、併シ

個人トシテノコトハドウダト仰セラレレバ喜ンデ私ハ私ノ過去ノ問題ニ付テモ申上ゲマス、之ヲ先ニ一言申上ゲテ置キマス
○膳次ニ將來ノ方策ハドウカト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、實ハマダ經濟安定本部ハ發足シテ居リマセヌ、此ノ經濟安定本部ハ皆様モ既ニ御案内デアラセラレマス通り、各省當局ト違ヒマシテ、日本ノ經濟安定ニ關スル各廳各省ノ間ノ色々施策ノ矛盾ノナイヤウニ統一性綜合性ノアルヤウニ調整スルコト云フコトガ主タル目的デアリマスノデ、隨テマダ發足シナイ經濟安定本部ガ將來ドウ云フ政策ヲ執ルカト云フコトニ付テハ私何モ申上ゲルコトガナイノデアリマス、併テ御尋ネノコトニ對シテ御答ヘ申上ゲルコトニナツタノデマスガ、新聞ノ報道ガ何カ見出シニハ勞資休戦ト云フヤウナコトガ大きい見出しノ内寄ニナツタヤウデアリマスガ、アレハ御質問ガアツテ、後デ一寸私ガ一例ニ申シタコトデ、私ガアノ時ニ申シマシタ趣旨ヲ改メテ申シマス、今私ガ申シマシタ經濟安定本部ノヤウナ職責ト申シマスカ、使命ニ付テ御答ヘ申上ゲマシタ次ニ私ノ考ヘル經濟安定ハ動モスルト世間デハ何カ救済スル案デハナイカ、産業資本ヲ援助スル問題デハナイガ、何カ

是ガ國民生活ニ關係カアルカト云

フヤウナ風ノ御叱リト言ヒマスガ、御批評ガアルヤウデアリマスガ、是ハ大變ナ誤解デアリマシテ、私ガ考ヘマスル經濟ノ安定ハ、要スルニ國民生活ノ安定デアリ、國民生活ノ安定ヲ圖リマスルノハ、ヤハリ國ニ産業ナシニハ居ラレマセヌ、又金融組織ハ單ニ産業ヲ興ス元デアアルバカリデアリマセヌ、國民ノ生活ガ之ニ依存シテ居ル、自分ノ現在ノ勞働ノ結果勤勞ノ結果ヲバ此ノ金融機關ニ依ツテ長ク自分及ビ自分ノ子孫ノ生活資料ニスル爲ニ之ヲ寄託スルモノデ、重大ナルガ故ニ先ツ産業組織ノ問題ヲ考ヘ、金融機關ノ問題ヲ考ヘルノデアリマスガ、是ハ目的デハナクテ、窮極ハ國民生活ノ安定ヲ圖ルト云フコトニアアルノダト云フコトハ申上ゲルマデモナイト思ヒマス、唯從來我が國ノ政治家ガ執ラレマシタ政策ハ、何カ産業政策ト申シマスルト、或ハ是ガ國家目的ダ、オ國ノ爲ダト言ヒ、何カオ國ノ爲ト云フコトガ人民生活ノ幸福安寧ト云フコトト全然遊離シタ觀念デアアルカノ如ク言ハレタ、ソレガ證據ニハ、サウ云フ際ニ、國民ノ相互ガ自分ノ生活及ビ自分ノ子孫ノコトヲ言フト、アレハ私利私慾ニ走ルノダト云ウテ恰モ非國民デアアルカノヤウナ簡單ナ片付ケ方ヲシテ、何カ知ラヌガ國家目的ト云フヤウナ大キナ人ノ爭ヘナ

イヤウナ看板ヲ掲ゲテ、其ノ言葉ノ魔術デ輿論モ世間ノ考ヘモグツト引張ツタ、何カ國家目的ヲ果ス爲ニハ個人ノ幸福ナドハ當然犧牲ニサレテ宜イノダト云フヤウナ觀念ヲ與ヘテ引張ツテ來タ、是ガ日本ノ從來ノ根本ノ誤リナシダラウト思ヒマス、私ノ信念ニ依リマスト、國家ノ目的ト云フコト、國家ノ隆昌ヲ圖ルト云フコトハ、要スルニ國民ノ安寧幸福、無論精神的モアリマスクレドモ、主トシテ物質的ニ、何等自分ノ生活ニ苦慮セズ、永遠子孫共ニ業ニ樂ミ得ルコトヲ圖ルト云フコト、併シ是モ一時目的ノ先ノコトデアリマセヌ、永遠ノ國民ノ幸福ヲ圖ルコト、是ガ國家ノ總テノ目的ノ中心デアリマシテ、隨テ經濟ヲ安定ト云フコトモ要スルニ致ニ「ピント」ガ合ハナケレバ全然問題ニナラナイ、斯ウ私ハ思フ次第デアリマス、隨テ私ハ其ノ點ヲ申シマシタ、偕テ現在ノ經濟危機ノ問題、是カラ起ルベキ色々ナ勞資間ノ問題ハ、只今河合厚生大臣ノ御述ベニナラレマシタ通り、ドウ考ヘマシテモ、是ハ工場ノ待遇ガ悪イカラ、或ハ勞資間ノ關係ガ悪イカラト云フダケノ問題デハゴザイマセヌ、隨テ此ノ問題ハ、一ツニハ、斯ウ云フヤウナ日本ノ敗戦ト云フ結果ニ基キマスル責任ト言ヘバ、國家全體ノ責任ニナリマスル問題デ、オヒヒニドウ片付ケルカト云フ問題デア

ル、又此ノ解決ハ單ニ勞資間ダケデハ片付キマセヌ、隨テ一方ニハ生活、物價ノ問題モアリマスルシ物資ノ供給ノ問題モゴザイマス、サウ云フヤウナ所デ解決サレル、即チ形ハ所謂勞資問題ト見エマサルケレドモ、是ハ單純ノ勞資問題デハナイ、隨テ是カラノ經濟安定ヲ策スルニハ、所謂日常闘争デアルトカ何ト云フヤウナサウ云フ闘争ノ觀念ハ全然捨テテシマツテ、何ト申シマスルカ、事業ニ關係スル勞ト資ト、言葉ハ適切トハ思ヒマセヌ、經營者ト從業者、ソレニ第三者ガ加ハリマシテ、解雇手當ノ問題ハドウ云フヤウニスルカ：（「委員長注意セヌカ、政策ヲ述ベナケレバ駄目ダ」ト呼ブ者アリ）一寸御待チ下サイ、是等ノ問題ヲドウ片付ケルカト云フコト、ソレヲ審議シテコソ初メテ經濟再建ガ出來ルノダ、斯ウ云フ意味デ、私ハ勞資ノ間ニ戦ヒト云フヤウナ觀念ガアツテハナラヌト云フ意味ニ於ケル勞資休戦ト云フ言葉ヲ、不適當ナ言葉トハ存ジマシタガ用ヒタ譯デアリマス、ドウゾ左様ニ御諒承願ヒタイ、偕テ今ノ政策ノ問題デアリマスルガ、是ハ河合厚生大臣ガ樓々御述ベニナラレマシタ通り、厚生省トシテ既ニ考ヘ從來政府トシテ考ヘラレタ問題ハ説明申上ゲ盡シテ居ルト思ヒマスガ、將來ドウ行クカト云フコトハ、實ハ私ノ頭ニハ個人的意見

ハゴザイマス、併シ個人的意見ハ此ノ際申上ゲルノハマダ不適當ト思ヒマスノデ、愈々經濟安定本部ガ發見致シマシテ、此處デ綜合的國策ノ研究ガ進ムニ應ジマシテ、御要求ガナクモ喜ンデ凡ユル機會ニ申上ゲテ御批判ヲ願ヒタイト存ジマス、御諒承ヲ御願ヒ致シマス

○總務委員 長官ト致シマシテハ答辯スル時期デナイト云フコトデアリマスノデ、質問ヲ打切りタイト思ヒマス、唯此ノ法案ノ討議バカリデナク、一般ノ勞働者ニ取リマシテ重大ナ點ト思ヒマスノデ、二ツノ點ダケ申上ゲテ置キマスガ長官ハ官制ニモ出テ居ラヌシ、議會デモ答辯出來ヌト言ハレマシタガ、アノ新聞談話サレタコトハ長官トナルコトヲ豫定サレタ發言サレタノデアリマスカラ、今後發言ヲ慎ンデ戴キタイト云フコトハ是非御願ヒ致シマス、ソレカラ、今モ御話ノ中ニモ出マシタガ、今後ノ勞働政策ハ、緊密ニ生産政策ト結合致シテ不可分ニ一體デアリマスノデ、其ノ性格ニ於キマシテハ、勞働爭議ノ休戦ヲ宣スル以上ハ、一方ニ於キマシテ、勞働者ニ經營ニ對スル發言權ヲ許スカ、然ラズンバ經營權乃至ハ利潤權ノ休戦ヲモ宣シナケレバ今後ノ勞働爭議休戦ノ條理カ立タヌ、勞働者ガ納得シナイト云フコトヲ私ハ長官ニ對シテ希望致シマシテ又次ノ機會

ニ正式ノ質問スルコトニ致シマシテ今日ノ、質問ハ打切りタイト思ヒマス

最後ニ河合厚生大臣ニ御尋ネ致シマスガ、私ガ提起致シテ置キマシタ二ツノ問題ノ中最後ノ一ツデアリマス、即チ此ノ法案ノ缺陷ノ第二ノ點ハ、勞働爭議行為ノ制限乃至禁止ガ酷ニ過ギルト云フコトデアリマス、之ニ付キマシテハ前質問者ニ依ツテ幾多繰返サレマシタノデ、私ハ此ノ中デ唯一點ダケ指摘シテ御質問致シタイト思ヒマスガ、ソレハ一般官吏ノ爭議ノ禁止デゴザイマス、是ハ言フマデモナク勞働組合法ニ於キマシテ大體團結權即チ勞働組合結成ガ認めラレタ官吏ニ相當スルモノデアリマスガ、大體勞働法ニ於キマスル官僚ノ分ケ方ガ三ツニナツテ居ツテ、一ツハ警察官其ノ他、一ツハ一般行政官吏、モウ一ツハ現業員ト云フ、ヤハリ準官吏ノモノデアリマスガ、此ノ三ツニ分ケマシテ、最初ノ警察官其ノ他ハ團結權モ爭議權モ認めラレテ居ラヌ、一番コチヲノ現業員ハ團結權モ爭議權モ認めラレテ居ル、サウシテ中間ノ一般行政官吏ガ團結權ノミ認めラレテ爭議權ガ認めラレテ居ラヌト云フコトデアリマスガ、是ハ本會議ニ於テモ御説明ガアリマシタガ、團結權ヲ認めテ置イテ爭議權ヲ認めナイ、官僚ガ爭議ヲヤツテハイカヌト云フナラバ、ナゼ一

體團結權モ警察官ト同ジヤウニ禁止ニナラナイカ、團結權ヲ認めテ置イテ爭議權ヲ禁止スルト云フ以上ハ、納得ノ行ク説明ヲ先ヅ政府側カラシテ戴キタイノデアリマス

○吉武政府委員 只今ノ御話ノヤウニ、警察官吏、消防職員、監獄勤務者ニ付キマシテハ團結權モ爭議權モ禁止シテ居リマス、是ハ其ノ職務ノ性質上團結權モ適當デナイト云フコトデ禁止致シテ居ルノデアリマス、一般ノ官吏ニ付キマシテハ、團結權ハ許サレテ居リマシテ、爭議行為ヲ禁止シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ、團結權ヲ許サレテ居リマスカラ、待遇改善其ノ他ニ付テ組合トシテ意見主張ヲスルコトハ許サレテ居ルノデアリマス、唯ソレガ國家ノ行政或ハ司法事務ノ停廢、其ノ他支障ヲ來ス行為ヲシテハイケナイト云フ制限ヲ付ケテ居ルノデアリマス

ソレカラ一般ノ官吏デアリマシテモ、國鐵デアリマスとか、或ハ公共團體ノ電車其ノ他ノ所謂公企業ニ於ケル現業デアリマスルガ是ハ勿論一般官吏ニ付テ組合團結權ヲ認めルト同様認めテ居ルノデアリマス、ソレハ國鐵道ヲ動かシマシテモ、會社ガ鐵道ヲ動かシマシテモ、其ノ企業自體ノ本質カラ申シマスレバ同ジコトデアリマス、會社デアラカラ爭議權ヲ認め國家ナリ公共團體ガ經營スルカラ之ヲ認めヌト云フ譯ニ參リマセヌ

ノデ、之ニ付キマシテハ一般ト同
様ニ實質のニ之ヲ取扱ツテ居ル
デアリマス、唯此ノ現業員ニ付キ
マシテ公益事業ニ關聯ガ多イノデ
アリマスカラ、之ニ付キマシテハ
拔打ち爭議ヲ制限シテ居リマス、
爭議行爲其ノモノヲ制限シテ居ル
ノデハナイコトハ御承知ノコトト
思ヒマス

○總務委員 私ノ質問ノ中心
ハ……

○達達委員 長 マダアリマスカ
ミマス、一般行政官吏ガ團結權ヲ
認メラレテ、爭議權ノ行使ガ認メ
ラレテ居ラヌト云フコトダケヲ問
題ニシテ居ルノデアツテ、言ヒ換
ヘレバ一般行政官吏モ爭議權ヲ認
メルベキデアルト私ハ主張スル意
味ニ於テ質問シテ居リマス、言ヒ
換ヘマスナラバ二ツノ點ガ、理由
トシテ擧ゲラレタヤウデアリマス
ガ、爭議權ハ認メラレテ居ルガ爭
議權ノ行使ガ認メラレテ居ラヌ、
勞働爭議行爲ノ發現ガ認メラレテ
居ラヌト云フコトデアリマスガ、
是ハ解釋ノ仕様ニ依ツテハ爭議權
ガナイト同ジコトデアリマス、是
ハ後ニ御尋ね致シマスガ、私ガ問
題ニシテ居ルノハナゼ一側爭議權
ガ禁止サレテ居ルカ、爭議權ノ發
現ガ禁止サレテ居ル理由ハ、一般
ニ勞働爭議ノ官吏ガ先頭ニ立ツテ
ヤルト云フコトハ社會風潮ニ及ボ
ス影響ガ惡イト云フコトト、モウ

一ツハソレガ公共ノ事務ニ參加シ
テ居ルカライケナイノダト云フコ
トデアリマス、サウデアアルナラバ
一般ノ風潮ニ惡イト云フナラバ教
員ト一體何處ガ違フカ、教員ハ一
般ニ爭議ヲヤルコトガ許サレテ居
ル、場合ニ依ツテヤル其ノコトガ
一般風潮ニ及ボス影響ト云フモノ
ハ、寧ろ官僚ガ爭議ヲ起ス場合ヨ
リモ影響ガ大キイト思ヒマス
ソレカラ公共ノ施設デアリマス
ガ、若シ公共ノ事業デアアルナラバ
其ノ公益事業ノ中ニ於キマシテ斯
ウ云フヤウナ爭議行爲ノ制限ガナ
サレテ居リマスノデ、之ニ依ツテ
十分其ノ緩和ハ出來ルト思フニ拘
ズ、爭議權ノ發動ガ全面的ニ封
鎖サレテ居ルト云フコトハ一體ド
ウ云フコトデアルカ、サウナレバ
官吏ハ教員ヨリハ自肅ノ能力ガ足
リナイ、劣等國民デアルト云フコ
トガ自認サレナレバ、官吏ノ爭
議權ガ許サレナクテ教員ダケガ許
サレテ居ルト云フコトニハナラヌ
ト思ヒマス、私ハ其ノ點ニ於テハ
特ニ官吏ダケガ教員ヨリハ自肅能
力ナリ自覺ガ足リナイトハ決シテ
思ハナイ、信賴シテ、此ノ際爭議
權ヲモ認メタラドウカト思ヒマス
殊ニ河合厚生大臣モ役人ノ飯ヲ食
ハレタコトガアル、私モ聊カ見習
ノ頃飯ヲ食ツタコトガアリマスガ
今日ノ官僚體制ト云フモノハ、敗
戦後ニ於テモ更ニ其ノ寡頭氣ト云
フモノハ舊態依然タルモノデ、職

員組合ノ爭議權ガ認メラレルコト
ニ依ツテ此ノ官僚界ニ於ケル封建
性ナリ情氣ガ悉ク一掃サレルトハ
思ヒマセヌガ、併シナガラ、是モ
一ツノ大キナ役割ヲ果スモノデア
ルト信ジマスガ故ニ、私ハ是ノ禁
止ハ是非外シテ戴キタイ、今ノ吉
武政府委員ノ御答辯ト云フモノハ
公益事業ニシマシテモ、或ハ一般
ノ風潮ニ影響ヲ及ボス點カラ見マ
シテモ、自肅能力ノ點カラ言ヒマ
シテモ、教員ト區別スベキ理由ハ
更ニナイト思フノデアリマスガ、
其ノ點ヲ重ネテ御尋ね致シマス

○河合國務大臣 只今ノ御質問ニ
御答ヘ致シマスガ、此ノ官吏ノ爭
議行爲ヲ認メナイト云フコトニ付
キマシテ、只今二ツノ理由ヲ御擧
ゲニナツタヤウデスガ、第一ノ理
由、即チ風潮ノ問題ト云フモノハ
理由トシテ考ヘテ居リマセヌ、第
二ノ點ダケデス、第二ノ點ハ、言
フマデモナクヤハリ今日ノ社會制
度デハ、政府ノ官吏ト云フモノハ
公共ノ福祉ト云フモノニ最モ重大
ナル關係ガアル、是ハ人間ノ神經
系統ノヤウナモノダト前ニ御答ヘ
シタコトガアリマスガ、サウ云フ
モノデアリマシテ、是ハ公益ノ中
デモ最モ「トツブ」ヲ切ツタモノ
デアルト云フコトハ疑ヒナイ、ソ
レダカラ「トツブ」ヲ切ツタモノ
ト「トツブ」ヲ切ラヌモノトノ間
ニ差別ヲ付ケテ行クト云フコトハ
考ヘ得ルコトデス、其ノ考ヘデヤ

ツテ居ル譯デス、勿論個人ノ自由
ハアルノデスカラ、其ノ面モ勿論
考慮シマスガ、ソレト是ト彼此照
ラシ合ハセテ、秤ガコチラニ重ク
掛ツテ來ルノダト御諒承願ヒマス
ソレカラ又官僚制度改革ニ付テト
云フ目的の御話ガアリマシタガ
是ハ一ツノ御考ヘトシテ拜承致ス
者デアリマス

○總務委員 大體御尋ねノ論旨ハ
分ツタト思ヒマスノデ、是レ以上
議論ヲ致シマセヌガ、私ハ其ノ政
府ノ御答辯ノ根據ハ理論的ニ洵ニ
薄弱デアル、私ハ飽クマデ此ノ爭
議權ノ禁止ハ解除スベキモノダト
云フ主張ヲ持テ續ケテ居ルデア
ルト云フコトヲ申上ゲテ質問ヲ打切
リマス

アト唯一ツ之ニ關聯シテ伺ヒタ
イコトハ、公益事業デゴザイマス
ガ、公益事業ニ於ケルモノト警察
官ハ爭議權ヲ制限サレテ居リマス
ソシテ此ノ場合ニ今吉武政府委員
ガ御答辯ニナリマシタ如ク、爭議
權ハ禁止サレテ居ラヌ、制限サレ
テ居ルト云フコトデアリマスガ、
其ノ時ハ爭議權ヲ詰リ行フコトガ
出來ル譯デアリマス、問題ハ是ガ
制限サレタリ禁止サレル理由ガ七
條デアリマシタカ、勞働爭議ノ爲
ニ業務ノ正常ナル運営ヲ阻害スル
カライケナイノデアツテ、ソレ以
外ノ要求、生活改善ノ爲ノ要求或
ハ職場改善ノ爲ノ要求ト云フモノ
ハ出シテ宜イモノダト思ヒマス、

サウデアアルナラバ、此ノ法律ノ上
ニ於テハ斯ウ云フ七條デ言ハレテ
居ル爭議行爲ダケヲ問題ニシテ居
ルノデアアルカラ、ソレ以外ノコト
ハ問題ニシナイト言ハレルデア
リマセウガ、併シソレダケノ親切心
ガアルナラバ、之ニ補則ナラ補則
ヲ加ヘテ、正常ナル業務ヲ繼續シ
ナガラ、一方ニ於テ此ノ社會ノ言
葉デ言ヘバ、爭議マデイカナイ、
紛議ノ狀態ニ於ケル要求ノ出シ方
ヲシテ、其ノ要求ヲ中央勞働委員
會ナリ或ハ特別ノ勞働委員會ニ提
出シテ、其ノ第三者ノ審判ヲ俟ツ
ト云フ風ニシテ爭議權ヲ行使スル
方法ニ於テナゼ御考ヘニナラナカ
ツタカ、或ハ公益事業デハ通告後
三十日ヲ過ギレバ行ハレル譯デス
ガ、三十日間ハ行ヘヌ、此ノ行ヘ
ヌ期間ニ於テハ今ノ業務ヲ正常ニ
續ケナガラ行フ争ヒノ方法ヲ取上
ゲテ之ヲ條文ノ上デ明記シテ一ツ
ノ合法的ノ道ヲ開イテ置クコトガ
必要デアリ、親切デアルト思ヒマ
ス、是ガ立法ノ目的ニ合致シタコ
トデアアル、斯ウ云フ手續ニ於テ
ノ要求ガ處理サレル、サウデア
リマセヌト、要求致シマシテモ茲
デ謂フ勞働爭議以外ダト云フコト
中央勞働委員會會取上ゲラレナイ
シ、又調停ニモナリマセヌシ、野
垂レ死デアリマスノデ、之ヲ是非
取上ゲテ戴キタイト思フノデア
リマス、是ガ最後ノ私ノ質問デア
リマス

○河合國務大臣 爭議ト紛議トノ
間ノ問題ニナリマス、是ハ中々
程度問題ニナルヤウナ處モアリマ
ス、爭議ハイカヌト云フノデゴザ
イマスガ、此ノ紛議マデハ大イニ
宜シイト云フヤウナコトハヤハリ
法律トシテ書ク譯ニハイカス、爭
議ガイカナケレバソレニ最モ近イ
モノハ餘リ好マシクナイノデスカ
ラ、ソレハドウモ積極的ニソコマ
デ法律デ規定スル考ヘハアリマ
ヌセ

○達澤委員長 ソレデハ本日ハ之
ヲ以テ散會致シマス

午後零時一分散會

昭和二十一年八月十七日印刷

昭和二十一年八月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局